

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-86	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	古探 708	精選 古典探究		

## 1. 編修の基本方針

- ・古典を学ぶことをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ・古典を学ぶことをとおして、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広めたり、深めたりすることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるよう配慮する。
- ・古典文学作品のみならず、近代、現代の評論文やエッセイを掲載することで 読解の新たな視点を得たり、作品の理解を深めたりすることができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>【古文編】第I部</b> <b>1 説話</b> 宇治拾遺物語 十訓抄 生野（梨木香歩） 生野（浅井了意） 今昔物語集 陰陽師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ることができるとし、説話教材3作品を収録した。(第1号)</li> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> <li>・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、関連する文章3作品を収録した。(1・5号)</li> </ul>	pp.12-21
<b>2 随筆（一）</b> 徒然草 玉勝間 方丈記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材3作品を収録した。(第1号)</li> <li>・個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号)</li> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.22-33
<b>3 物語（一）</b> 伊勢物語 大和物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材2作品を収録した。(第1号)</li> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.34-39
<b>4 随筆（二）</b> 枕草子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材1作品を収録した。(第1号)</li> <li>・個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号)</li> <li>・我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第4号)</li> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.40-47

<p><b>5 物語（二）</b> 源氏物語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.48-61
<p><b>6 日記</b> 土佐日記 更級日記 十六夜日記 伊勢物語 日記と日本人 航西日記</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材 3 作品を収録した。(第 1・5 号)</li> <li>古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、物語 1 作品、古典に関連する近代以降の文章 2 作品を収録した。(第 1・5 号)</li> </ul>	pp.62-73
<p><b>7 物語（三）</b> 大鏡 平家物語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、歴史物語教材 1 作品、軍記物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.74-93
<p><b>8 和歌・歌謡・歌論</b> 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 無名抄 梁塵秘抄 閑吟集 幽玄—想像された美</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、和歌教材 3 作品、歌謡教材 2 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、中古・中世の評論教材 1 作品、古典に関連する近代以降の文章を 1 作品収録した。(第 1・5 号)</li> <li>生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第 4 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.94-110
<p><b>【古文編】第 II 部</b> <b>1 説話</b> 古今著聞集 今昔物語集</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、説話教材 2 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.112-119
<p><b>2 随筆</b> 枕草子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第 2 号)</li> <li>我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第 4 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.120-129
<p><b>3 物語（一）</b> 堤中納言物語 大鏡</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材 2 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.130-141
<p><b>4 日記</b> 蜻蛉日記 和泉式部日記 紫式部日記 無名草子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材 3 作品、中世の評論教材 1 作品を収録した。(第 1・5 号)</li> </ul>	pp.142-151
<p><b>5 物語（二）</b> 源氏物語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.152-175
<p><b>6 近世の俳諧</b> 俳句 市中の巻（歌仙） 三冊子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし俳諧教材 2 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第 4 号)</li> <li>古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、近世の評論教材 1 作品を収録した。(第 1・5 号)</li> <li>我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。</li> </ul>	pp.176-183

	(第5号)	
<b>7 芸能</b> 風姿花伝 隅田川 伊勢物語 難波土産 曾根崎心中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、能教材1作品、浄瑠璃作品1作品を収録した。(第1号)</li> <li>・古典芸能に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、物語教材を1作品、近世の評論教材2作品収録した。(第1・5号)</li> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.184-197
<b>8 物語(三)</b> 西鶴諸国ばなし 雨月物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材2作品を収録した。(第1号)</li> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.198-206
<b>【漢文編】第I部</b> <b>1 故事・逸話</b> 知音 画竜点睛 両頭蛇 漱石枕流 糟糠之妻 塞翁馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事と逸話を6作品収録した。(第1号)</li> <li>・短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.208-215
<b>2 漢詩—近体詩</b> 自然 旅情 別離 憂愁 土佐日記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐宋の近体詩10首を収録した。(第1号)</li> <li>・他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深めることをねらいとし、漢詩に言及した平安時代の日記1作品を収録した。(第5号)</li> <li>・収録した漢詩教材のテーマとして「自然」「旅情」「別離」「憂愁」を掲げ、生命を尊び、自然を大切にすることを養うことができるよう配慮した。(第4号)</li> <li>・漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> </ul>	pp.216-231
<b>3 史伝—『史記』本紀</b> 鴻門の会 項王の最期 英雄の器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材1作品を収録した。(第1号)</li> <li>・歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号)</li> <li>・中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> <li>・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、『史記』を翻案した近代の物語1作品を収録した。(第1・5号)</li> </ul>	pp.232-249
<b>4 文章</b> 桃花源記 日本の桜・中国の桃 捕蛇者説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、物語1作品、論説文1作品を収録した。(第1号)</li> <li>・我が国でも親しまれた陶潜の名作と、達意の名文として知られる柳宗元の文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)</li> <li>・古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近代以降の文章1作品を収録した。(第1・5号)</li> </ul>	pp.250-257
<b>5 思想</b> 師弟 最愛の弟子 顔淵 本性 自然 法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』3章、『孟子』2章、『荀子』1章、『老子』2章、『莊子』1章、『韓非子』1章を収録した。(第1・5号)</li> <li>・収録した思想教材のテーマとして「師弟」「本性」「自然」「法律」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号)</li> <li>・古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、近代以降の文章1作品を収録した。(第1・5号)</li> </ul>	pp.258-271
<b>6 日本の漢詩</b> 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、日本人による漢詩4首を収録した。(第5号)</li> </ul>	pp.272-277

<p><b>7 小説</b> 定伯売鬼 定婚店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材 2 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>小説文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.278-286
<p><b>【漢文編】第Ⅱ部</b> <b>1 故事・逸話</b> 水魚の交はり 死せる諸葛 生ける仲達を走らす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった逸話を 2 作品収録した (第 1 号)</li> <li>歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</li> </ul>	pp.288-293
<p><b>2 漢詩—古体詩</b> 人生 社会 悲しき響き 搦衣</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、古体詩 5 首を収録した。(第 1 号)</li> <li>収録した漢詩教材のテーマとして「人生」「社会」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</li> <li>漢語の特色を活かして構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> <li>古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近代以降の文章 1 作品を収録した。(第 1・5 号)</li> </ul>	pp.294-301
<p><b>3 史伝—『史記』列伝</b> 廉頗・藺相如 荊軻</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</li> <li>中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.302-311
<p><b>4 文章</b> 師説 春夜宴桃李園序</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、論説文 1 作品、駢儷文 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>達意の名文として知られる韓愈の文章と、漢語の特色を活かして構成された駢儷文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.312-317
<p><b>5 思想</b> 師弟 暴虎馮河 東照宮御遺訓 愛 常識を疑う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』2 章、『老子』1 章、『墨子』1 章、『韓非子』1 章、『莊子』1 章を収録した。(第 1・5 号)</li> <li>収録した思想教材のテーマとして「師弟」「愛」「常識を疑う」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</li> <li>古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近世の文章 1 作品、近代以降の文章 1 作品を収録した。(第 1・5 号)</li> </ul>	pp.318-325
<p><b>6 長恨歌と日本の文学</b> 長恨歌 源氏物語 更級日記 枕草子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、長編の漢詩「長恨歌」を収録した。(第 1 号)</li> <li>他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深めることをねらいとし、「長恨歌」に言及した平安時代の文学 3 作品を収録した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.326-337
<p><b>7 小説</b> 人虎伝</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</li> <li>我が国の文学にも影響を与えた伝奇小説の読解を通じて、古典の現代的意義を知り、理解を深めることをねらいとし、教材化に配慮した。(第 5 号)</li> </ul>	pp.338-350

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、古典作品への興味をかき立て、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮した。
- 教材に関連して、古典を読解するための基本的な知識や、作品の背景についての知識をまとめたコラム「豆知識」を随所に掲載し、古典の読解がスムーズにできるよう配慮した。
- 古典作品の成立した背景や、受容の歴史、現代との関わりについてまとめたコラム「古文の窓」「漢文の窓」を掲載し、教材や作品から広がるつながりを意識できるように配慮した。

- ・読書への関心を高められるよう、「豆知識」内で教材の読解に資する書籍を紹介した。
- ・巻頭口絵に「古典を探究」を置き、古典の世界や作品について探究的な学習を取り組みに資することができるよう配慮した。また、その他に、主要作品・主要人物の流れや関係がわかるような図や、写真資料をテーマごとに配置し、生徒が古文の世界を視覚的かつ具体的にイメージすることができるよう配慮した。
- ・付録には、古典の流れを把握するための年表のほか、古文文法や漢文の句法に関する資料や解説といった頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- ・巻末に「漢文と日本文化」「諸子百家関係図」「詩文関係図」を置き、漢文と日本の古典文学・近代文学との影響関係、詩人や思想家の関係や、活躍した時代などを把握しやすくなるよう配慮した。また、写真資料などを「漢文の舞台」「漢文の世界」としてまとめ、生徒の興味・関心を喚起することができるよう配慮した。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-86	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古探 708	精選 古典探究		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ●基本方針

- ・古典を学ぶことをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ・古典を学ぶことを通して、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広めたり、深めたりすることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるよう配慮する。
- ・古典文学作品のみならず、現代の評論文やエッセイを掲載することで 読解の新たな視点を得たり、作品の理解を深めたりすることができるよう配慮する。
- ・学習指導要領に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

### ●構成

- ・学習上の便宜に配慮して古文編・漢文編を設け、それぞれを第Ⅰ部・第Ⅱ部に分けた。
- ・古文・漢文を学習する際に役立つ資料として、地図や人物関係図、写真などを巻頭巻末をはじめ、随所に配置した。

### ●教材選択にあたっての配慮

- ・「古典探究」としての価値や学習上のねらいをふまえつつ、身に付けるべき教養として必要な古典作品と、探究的な学習に資する作品をバランスよく配置した。また、古典作品の読解に資する現代の文章も複数掲載した。

### ●教材化の工夫

- ・教材化にあたっては、本文の理解にとどまらず、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動などを通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮した。
- ・本文の読解の助けとなる脚注を適切に付した。脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」の記号をつけ、参照しやすいよう配慮した。また、本文中の重要古語、訓読で注意する文字、主な句法に印を付け、巻末付録で一覧できるようにした。
- ・本文を読みながらその内容を確実に理解するための「脚問」を本文下欄に、本文の理解を深めるための設問「学習のポイント」を教材末に位置づけ、文章を的確に読み取る力が身につくよう配慮した。
- ・本文を理解した上で、他の教材と読み比べて理解を深めたり、テーマを決めて探究したりする発展的な学習課題を「学習のポイント」欄に「探究」として位置づけ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮した。
- ・教材に関連した後世の人の考察や随想、翻案作品などを読み比べて取り組む学習課題を示した「読み比べ」、教材として掲載した「視点」を置き、古典作品を多角的にとらえられるよう配慮した。
- ・教材の読解に役立つ知識や参考となる書籍を紹介するコラム「豆知識」を随所に位置づけ、作品への理解を深め、探究心を高めることができるよう配慮した。
- ・登場人物の関係図や地図など、作品の読解に役立つ資料を多数掲載し、学習に資するよう配慮した。
- ・コラム「古文の窓」「漢文の窓」や「豆知識」で、自分たちが学んでいる古典作品がどのように受け継がれてきたのかを意識できるように配慮した。
- ・巻頭・巻末の口絵で現代との繋がり、漢文教材と日本との繋がりを意識できるように配慮した。

### ●付録の充実

- ・古典に関する資料や図版をテーマごとに図録としてまとめた。その際、生徒が課題について探究しながら古典と現代

のつながりの理解をさらに深められるよう配慮した。また、模型や写真を多用し、古典の世界を視覚的かつ具体的に理解できるよう配慮した。

- 古文編・漢文編とも、主要作品・主要人物の流れや関係がわかるような図を配置し、生徒が古典の世界を概観できるように配慮した。
- 付録には「古文文法のまとめ」「紛らわしい語の識別」「重要漢字一覧」「重要句法一覧」などの文法事項が確認できる資料や年表を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

## 2. 対照表

図書構成・内容		学習指導要領の内容																該当箇所	配当時数							
		知識及び技能								思考力、判断力、表現力等																
		(1)				(2)				A読むこと				(2)												
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
古文編 I																										
1	宇治拾遺物語(検非違使忠明のこと)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○				○			p.12-13	5
	十訓抄(大江山いくのの道)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○			p.14-15	
	[視点]生野(梨木香歩)				○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			p.16	
	[視点]生野(浅井了意)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			p.17	
	今昔物語集(安倍晴明)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			p.18-19	
	[読み比べ]陰陽師			○	○	○		○		○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		p.20-21	
2	徒然草(家居の…/今日は…/花は盛りに)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.22-27	4
	[読み比べ]玉勝間(兼好法師が…)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.27-29	
	[豆知識1]江戸時代に誕生した国学					○		○				○	○	○	○	○								p.28-29		
	方丈記(行く河の流れ/安元の大火)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.30-33	
3	伊勢物語(初冠/月やあらぬ/つひにゆく道)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.34-37	4
	大和物語(をばすて)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.38-39	
4	枕草子(すさまじきもの/宮に初めて…/中納言…)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.40-45	4
	[豆知識2]読んでみよう							○				○	○	○	○								p.45			
	[古文の窓①]中宮定子と清少納言					○		○				○	○	○	○			○					p.46-47			
5	源氏物語(光源氏の誕生/藤壺の内入/若紫…)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.48-54,56-60	5
	[豆知識3]人物の呼称	○				○				○			○	○										p.55		
	[豆知識4]『源氏物語』の中の女性論							○				○	○	○	○								p.60			
	[古文の窓②]『源氏物語』の影響					○		○				○	○	○	○								p.61			
6	土佐日記(羽根)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.62-63	4
	更級日記(門出/源氏の五十余巻)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.64-67	
	十六夜日記(駿河路)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.68-70	
	[参考]伊勢物語(第九段)	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.70	
	[読み比べ]日記と日本人	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.70-73	
	航西日記	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.72-73	
7	大鏡(概説/道真左遷/競べ弓/花山院の出家)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.74-84	5
	[豆知識5]読んでみよう							○				○	○	○										p.79		
	[古文の窓③]藤原道長の栄華							○	○			○	○	○	○								p.85			
	平家物語(忠度都落ち/能登殿最期)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.86-93	
8	万葉集	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.94-98	4
	古今和歌集(仮名序・撰者の歌)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		p.99-103	
	新古今和歌集	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.104-105	
	[読み比べ]無名抄(おもて歌)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.106-107	
	梁塵秘抄	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.108	
	閑吟集	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.109	
	[豆知識6]読んでみよう							○	○			○	○	○	○								p.109			
[視点]幽玄ー想像された美	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.110		
古文編 II																										
1	古今著聞集(源義家、衣川にて…)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.112-113	4
	今昔物語集(馬盗人)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.114-118	
	[古文の窓④]説話の生きる場所	○				○						○	○	○	○								p.119			
2	枕草子(うれしきもの/二月つごもり…/頭の弁の、…/この草子、…)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.120-129	4
	[豆知識7]近代以前の教科書	○				○		○				○	○	○	○								p.127			
	[豆知識8]書物の形							○				○	○	○	○								p.127			
3	堤中納言物語(虫めづる姫君)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.130-135	5



図書構成・内容	学習指導要領の内容														該当箇所	配当時数								
	知識及び技能						思考力、判断力、表現力等																	
							A読むこと																	
	(1)			(2)			(1)				(2)													
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ		
	[視点]最愛の弟子 顔淵					○		○				○		○	○	○							p.259	5
	本性(不忍人之心/人之性悪/性猶湍水也)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						p.262-265	
	自然(大道廢、…/小国寡民/曳尾於塗中)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						p.266-268	
	法律(侵官之害)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	p.269-270	
	[漢文の窓③]諸子百家の思想	○	○			○		○			○	○	○	○									p.271	
6	漢詩(不出門/桂林莊雜詠…/将東遊題壁/題自画)		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					○	○	p.272-275	5
	[漢文の窓④]漢文と日本人	○	○			○		○			○	○	○	○	○								p.276-277	
7	定伯売鬼	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.278-279	5
	定婚店	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.280-286	
漢文編 II																								
1	水魚の交はり	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.288-290	5
	死せる諸葛 生ける仲達を走らす	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					○	○	p.291-293	
	[豆知識24]『三国志』と『三国志演義』		○			○		○			○	○	○	○	○	○							p.293	
2	人生(桃夭/行行重行行/飲酒)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.294-296	5
	社会(子夜呉歌/石壕吏)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						p.296-299	
	[視点]悲しき響き 擣衣	○				○		○		○		○		○		○							p.297	
	[漢文の窓⑤]文の形式と表現	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.300-301	
3	廉頗・藺相如(刎頸の交はり)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					○	○	p.302-304	5
	荊軻(風蕭蕭として易水寒し/函窮まりて匕首見る)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					○		p.305-310	
	[漢文の窓⑥]日本における『史記』の受容					○		○			○	○	○	○	○								p.311	
4	師説	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.312-315	5
	春夜宴桃李園序	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					○	○	p.316-317	
5	師弟(暴虎馮河/過猶不及)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					○		p.318-320	5
	[視点]暴虎馮河					○		○			○	○	○	○	○								p.319	
	[参考]東照宮御遺訓	○				○		○			○	○	○	○	○	○							p.320	
	愛(兵者、不祥之器/兼相愛/母之愛子也)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○							p.321-323	
	常識を疑う(夢為蝴蝶)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○						○	○	
	[漢文の窓⑦]『莊子』の宇宙観					○		○			○	○	○	○	○								p.325	
6	長恨歌	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○						○	p.326-333	5
	[読み比べ]源氏物語(翼をならべ…)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○		p.334-335	
	[読み比べ]更級日記(七月七日)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○		p.336	
	[読み比べ]枕草子(梨花一枝)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○		p.336-337	
7	人虎伝	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○						○	p.338-349	5
	[豆知識25]中国文学と動物					○		○			○	○	○	○	○							○	p.349	
	[漢文の窓⑧]「人虎伝」と「山月記」	○	○			○		○			○	○	○	○	○								p.350	